

平成20年4月26日にオープンした現代美術館 入館者50万人を突破しました！

11月16日、現代美術館の入館者が50万人を超えました。50万人目となったかたは青森市在住の浅利大海さん。浅利さんには記念品として小山田市長からTシャツや絵はがきなど現代美術館のオリジナルグッズが贈られました。

浅利さんは「友人から勧められて来ました。50万人目となり驚きました」とニコリ。

現代美術館の高屋館長は「これからも多くの人に楽しんでいただくためにいろんなイベントや質の高い事業を展開していきたい」と話していました。



入館者 50 万人目となった浅利さん（写真右）

交通安全はみんなの願い

交通事故死皆無200日達成！

市は11月5日の午前零時に交通事故死皆無200日を達成しました。11月8日、寺島喜代次県警察本部長から十和田市交通安全母の会に表彰状が贈呈され、十和田市交通安全対策会議に感謝状が贈呈されました。

この交通事故死皆無200日の達成は市民一人ひとりが交通安全に対する意識を高め取り組んだ成果です。

これから本格的な冬の季節を迎え、道路の凍結や雪道による車のスリップ事故が多発します。みんなでセーフコミュニティ認証都市の安全安心なまちづくりに努め、交通死亡事故皆無記録を延長しましょう。



写真左から新井山洋子市セーフコミュニティ推進室次長、山内幸子市交通安全母の会会長、間宮安子県交通安全母の会連合会会長



今日も無事でいてほしい みんなでつくる安全安心とわだセーフコミュニティ

冬期間の交通事故を予防しましょう！

4月から9月までの本市における救急搬送状況は、交通事故によるけがで搬送されるかたが、全体の4割以上を占め、次に転倒事故によるものが多くなっています。

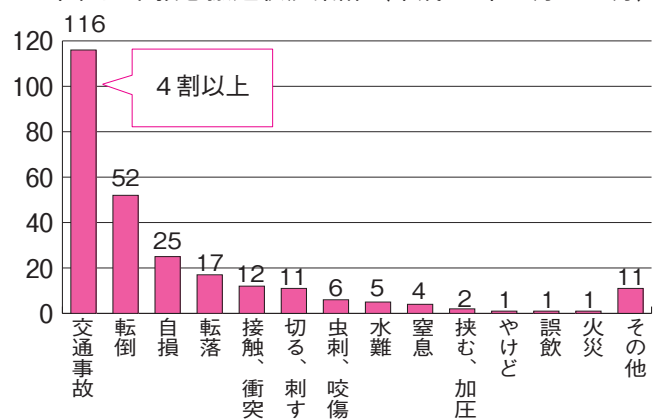
冬期間は、路面が凍結し、自動車のスリップ事故や歩行者の転倒事故などの危険性が増しますので、十分にご注意ください。

事故予防のポイント

運転手

- ・車間距離をとる。
- ・早めの減速と点灯を心掛ける。
- ・「急」の付く運転操作をしない。
(急発進、急ブレーキ、急加速、急ハンドルなど)
- ・歩行者が横断歩道を渡ろうとしているときは、必ず一時停止する。
- ・積雪時や路面凍結時は、自転車やバイクの乗車を避ける。

十和田市救急搬送状況集計（平成22年4月～9月）



歩行者

- ・滑りにくい冬靴を履く。
 - ・飲酒後の歩行は特に注意する。
 - ・夕方、夜間の外出時は、明るい服装を心掛ける。
(反射材の利用など)
- ※高齢者のかたの転倒は、大けがにつながりやすいので、特にご注意ください。

☎セーフコミュニティ推進室 ☎6777